

# 北海道浮魚ニュース

平成 30(2018)年度 3 号

2018 年 5 月 18 日

道総研 釧路水産試験場

ホームページ <http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/shigen/ukiuo/index.html>

## ◎サバ類・マイワシ漁場調査結果

**サバ類は 25～30 cm 台、マイワシは 15cm, 20cm 台が主体**

ロシア主張 200 海里内でのさけ・ます流し網漁業の代替として始まったサバ・イワシ棒受網漁業へ漁場情報を提供するため、調査を実施したのでお知らせします。なお、今年は漁法を昨年までの流網から表中層トロールに変更しました。

調査期間：2018 年 5 月 14～17 日

調査方法：海洋観測および表中層トロールによる漁獲試験（約 1 時間曳網）

調査海域と調査点：道東太平洋の 4 点（表 1, 図 1）

### 1. 水温分布（表 1, 図 1）

表面水温 10℃以上の黒潮系暖水が、東経 143～145 度で北緯 40 度 30 分付近まで、根室半島南方では北緯 42 度付近まで北上しています（図 1）。表中層トロールを実施した調査点（図 1 の黒丸）の表面水温は 10.4～12.4℃でした（表 1）。

### 2. 漁獲尾数（表 1）

4 回の表中層トロールによるサバ類の漁獲尾数は 676 尾で、最も多かったのは調査点 2 の 615 尾でした。マイワシの漁獲尾数は 4 回合計が 4,918 尾で、調査点 2 の 3,153 尾と調査点 3 の 1,530 尾が多くなっていました。根室半島南方の北緯 42 度付近にも、暖水が北上しているため、サバ類とマイワシが分布している可能性があります。荒天のため調査できませんでした。なお、カタチイワシとサンマは漁獲されませんでした。

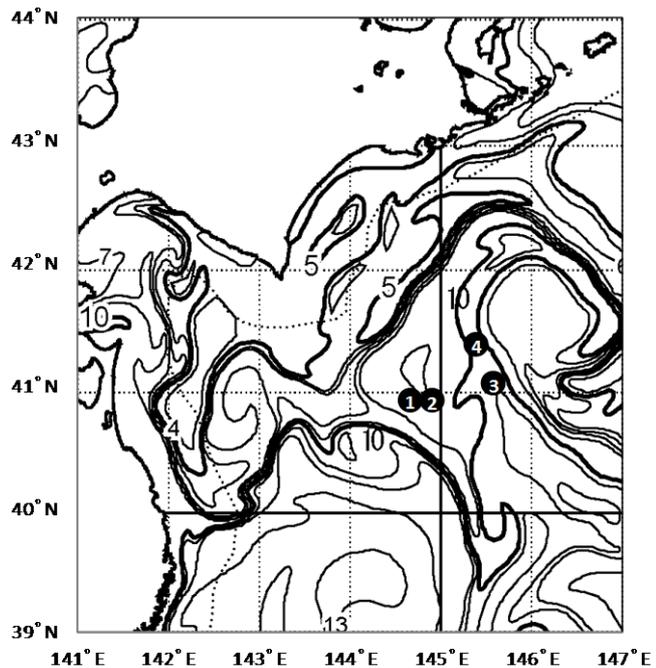


図 1 2018 年のマサバ・マイワシ漁場調査における調査点（黒丸）と調査点番号（白字）  
（漁業情報サービスセンターの 5/9-10 の水温図を改変）

### 3. 体長組成（図 2, 図 3）

サバ類の尾叉長は、調査点 2 では 27 cm と 30 cm が多く、調査点 4 では 24 cm が多くなっていました（図 2）。全調査点合計では 25～30 cm が主体でした（図 3）。

マイワシの体長は、調査点 2 では 16 cm と 20 cm、調査点 3 では 15 cm が多くなっていました（図 2）。全調査点合計では 15 cm と 20 cm が主体でした（図 3）。

昨年の流網の漁獲物と比べると、今年のサバ類、マイワシともに小型個体の割合が高くなってはいますが（図 3）、異なる漁法の漁獲物の大きさは単純に比較できないため、今後の棒受網などの漁獲物の体長組成を注視していきます。

表1 2018年のサバ類・マイワシ漁場調査の結果

調査日	調査点 番号	位置		水温 (°C)			漁獲尾数			
		北緯	東経	0m	20m	50m	サバ類*	マイワシ	カタクチイワシ	サンマ
5/15	1	40-53	144-48	10.6	10.6	7.9	1	19	0	0
5/15	2	40-52	144-54	10.4	10.1	6.9	615	3,153	0	0
5/16	3	41-01	145-35	12.4	12.6	11.8	1	1,530	0	0
5/16	4	41-20	145-24	10.9	9.2	8.3	59	216	0	0
合計							676	4,918	0	0

\*サバ類にはマサバとゴマサバが含まれます。

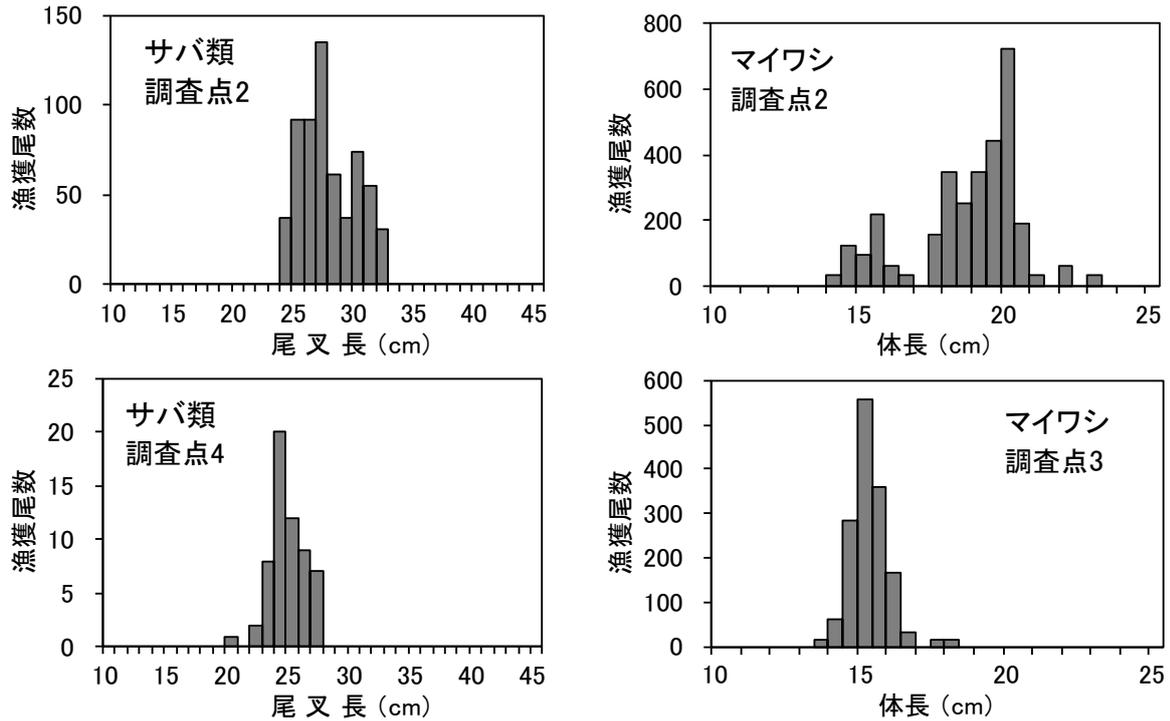


図2 2018年に主な調査点で漁獲されたサバ類(左)とマイワシ(右)の体長組成

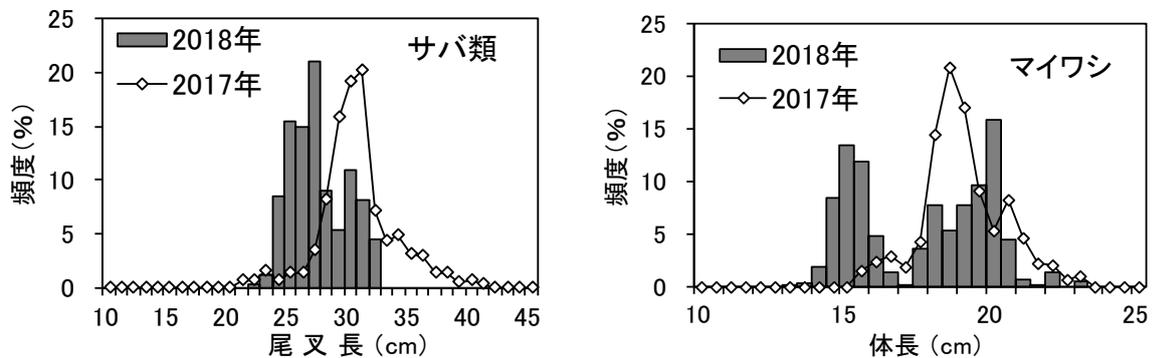


図3 全調査点合計のサバ類およびマイワシの体長組成

(注意: 今年の表中層トロールと昨年の流網の漁獲物の体長は単純に比較できません)

(釧路水産試験場調査研究部, TEL:0154-23-6222, FAX:0154-23-6225)